

つんじりは。

「餅shop西田の西田今子」です。
呉服屋に嫁ぎ久留米餅に出
会い「だんご」の仕事とはこ
え、これを着なければならぬ
のからと、相当シヨックをくら
ひました。

着てみるとそれまでの野草
たいイメージと全く違ひ、なん
と肌もちいいことか!!

デザインで
こんなには
素敵に
着られる
事を発見

それから
沢山の出来事

す 餅だっ た。始ま り。

ほんの小さなキリが人生を
かえろ。

それから

そんな種があります。

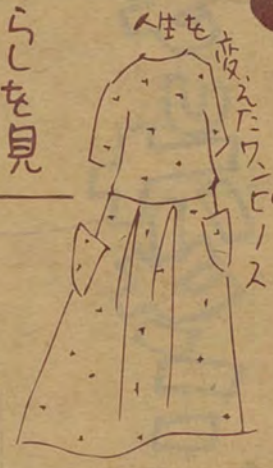
沢山の出来事



珈琲
カウンターは
ももとのショーウィンドウだ。



しかし、木綿と云えども久留米餅は
高級品。洗濯はどのような？
という質問に西田は洗濯の仕方を
調べ、水中ドライクリーニングという
方法を知り少量
の水で洗濯できる
簡単なやり方
面活性剤に石
油系不使用の
の環境にや
さしい洗
剤に出会いました。海から
塩をいただく訳ですから、
自らの昔暮らしを
肌をつけなければ!
と身も引きしま
る思いがします。



や人に出会い昔暮らしを見
つめるきっかけになりました。た
だ単に「服」だけにとどまら
ないのは、餅をつくる人々の相心い
物が売れた時代も海外生産
をせず、同じリズムで質を落
さず手抜きしない。日本の伝統
は日本を守る。そんなかたくな
な姿勢が知らず知らず、
伝わり、私の人生をより豊か
に。道守いたのかも知れません。

「食」も玄米が中心
になり、油や塩などの調味料の大
事さや、水の話しを聞き、すべて
は循環している事を学び、目
からウロコの日々を送っています。



餅はもろ
モチスタイル
は、大助か。
「餅」は、大助か。
「餅」は、大助か。

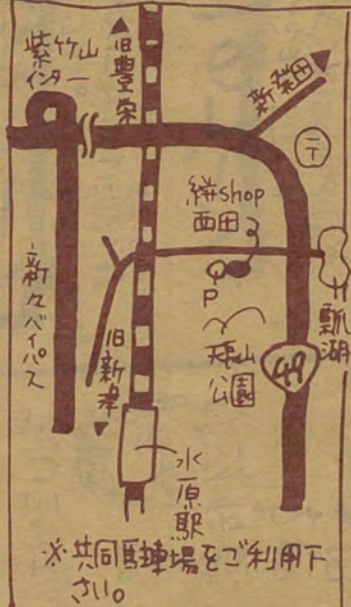
ちよとだけ西田の歴史を.....

初代は戦前古着を行商
二代目の姑は露店商から
呉服屋へ。



昭和42年の頃の
西田の
そして
三代目の
主人は

大好きな
珈琲を入れ
ながら
仕事
が出来て
います。



体元気でおいしく暮らし
餅shop西田
〒959-2021
阿賀里浦中央町2-10-10
TEL 0250-62-2293
営業時間 10時～19時
定休日 毎週水曜・土曜・日曜
<http://www.kasuri-mishida.com/>